

業績ハイライト

— 平成30年3月期第2四半期決算について —



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 平成30年 3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	29年9月期	28年9月期	29年3月期	
			前年同期比	増減率
連結経常収益	21,224	22,449	△ 1,224	△ 5.4
連結経常利益	1,502	2,799	△ 1,296	△ 46.3
親会社株主に帰属する中間純利益	1,183	2,949	△ 1,766	△ 59.8

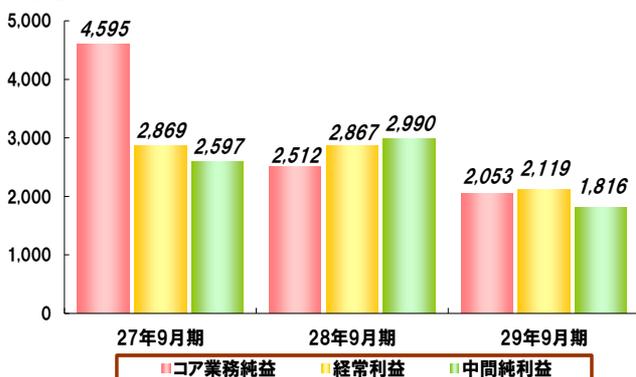
- 連結経常収益は212億24百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は11億83百万円となりました。なお、中間期に減収減益となるのは、初めてとなります。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

	29年9月期	28年9月期	29年3月期	
			前年同期比	増減率
経常収益	18,679	19,471	△ 792	△ 4.0
業務粗利益	14,746	15,831	△ 1,085	△ 6.8
資金利益	14,423	14,421	2	0.0
役務取引等利益	756	1,170	△ 413	△ 35.3
その他業務利益	△ 434	239	△ 673	-
うち国債等債券損益	△ 409	230	△ 640	-
経費(除く臨時処理分)	13,102	13,088	13	0.1
うち人件費	6,471	6,475	△ 4	△ 0.0
うち物件費	5,611	5,615	△ 3	△ 0.0
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,644	2,742	△ 1,098	△ 40.0
コア業務純益	2,053	2,512	△ 458	△ 18.2
一般貸倒引当金繰入額	△ 48	-	△ 48	-
業務純益	1,692	2,742	△ 1,049	△ 38.2
臨時損益	426	125	301	240.6
うち不良債権処理額	196	126	70	55.7
うち個別貸倒引当金繰入額	93	-	93	-
うち貸倒引当金戻入益	387	315	71	22.6
うち株式等関係損益	508	176	331	187.8
経常利益	2,119	2,867	△ 748	△ 26.1
特別損益	△ 73	△ 36	△ 37	-
中間純利益	1,816	2,990	△ 1,173	△ 39.2
与信関係費用	△ 240	△ 197	△ 43	-

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比7億92百万円減少の186億79百万円(増減率△4.0%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少により、前年同期比4億58百万円減少の20億53百万円(増減率△18.2%)となりました。
- 経常利益は、コア業務純益及び国債等債券損益の減少等により前年同期比7億48百万円減少の21億19百万円。中間純利益は、法人税等合計が前年同期比3億87百万円増加により、前年同期比11億73百万円減少の18億16百万円となりました。

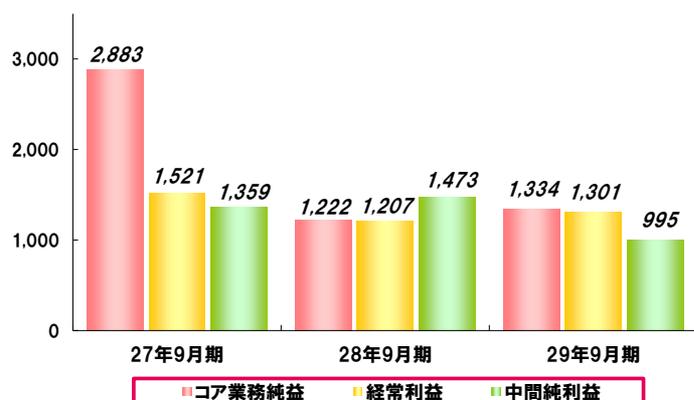
1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	29年9月期	28年9月期			29年3月期 (参考)
			前年同期比	増減率	
経常収益	11,037	11,231	△ 194	△ 1.7	22,602
業務粗利益	8,734	9,170	△ 435	△ 4.7	18,128
資金利益	8,454	8,294	160	1.9	16,835
役務取引等利益	582	692	△ 110	△ 15.8	1,537
その他業務利益	△ 302	182	△ 485	-	△ 244
うち国債等債券損益	△ 314	175	△ 490	-	△ 366
経費(除く臨時処理分)	7,715	7,772	△ 57	△ 0.7	15,435
うち人件費	3,876	3,942	△ 65	△ 1.6	7,833
うち物件費	3,276	3,271	4	0.1	6,496
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,019	1,397	△ 377	△ 27.0	2,693
コア業務純益	1,334	1,222	112	9.1	3,059
①一般貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
業務純益	1,019	1,397	△ 377	△ 27.0	2,693
臨時損益	281	△ 190	471	-	△ 534
②うち不良債権処理額	62	91	△ 28	△ 31.6	338
うち個別貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
(貸倒償却引当費用①+②)	62	91	△ 734	△ 88.9	338
うち貸倒引当金戻入益	387	57	330	579.4	65
うち株式等関係損益	359	136	222	163.2	240
経常利益	1,301	1,207	93	7.7	2,159
特別損益	△ 99	△ 43	△ 55	-	△ 62
中間純利益	995	1,473	△ 478	△ 32.4	2,200
与信関係費用	△ 325	28	△ 353	-	272

(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金が増加したものの、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したことから前年同期比1億94百万円減少の110億37百万円(増減率△1.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや、経費が減少したことから、前年同期比1億12百万円増加の13億34百万円(増減率9.1%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金の戻入などにより前年同期比3億53百万円減少の△3億25百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比93百万円増加の13億1百万円、中間純利益は前年同期比4億78百万円減少の9億95百万円となりました。

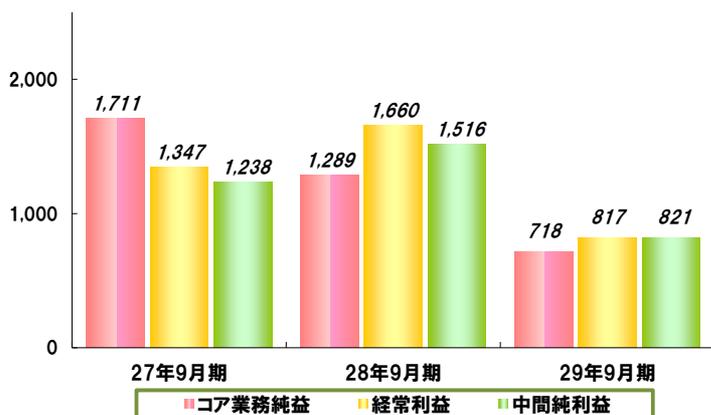
1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	29年9月期	28年9月期	29年3月期 (参考)		
			前年同期比	増減率	
経常収益	7,641	8,239	△ 597	△ 7.2	15,709
業務粗利益	6,011	6,661	△ 649	△ 9.7	13,056
資金利益	5,969	6,127	△ 158	△ 2.5	12,134
役務取引等利益	174	477	△ 303	△ 63.5	936
その他業務利益	△ 132	56	△ 188	-	△ 15
うち国債等債券損益	△ 94	55	△ 150	-	△ 17
経費(除く臨時処理分)	5,387	5,316	70	1.3	10,562
うち人件費	2,595	2,533	61	2.4	4,989
うち物件費	2,334	2,343	△ 8	△ 0.3	4,715
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	624	1,345	△ 720	△ 53.5	2,493
コア業務純益	718	1,289	△ 570	△ 44.2	2,511
①一般貸倒引当金繰入額	△ 48	-	△ 48	-	-
業務純益	673	1,345	△ 671	△ 49.9	2,493
臨時損益	144	315	△ 170	△ 54.1	384
②うち不良債権処理額	134	35	99	283.0	78
うち個別貸倒引当金繰入額	93	-	93	-	-
(貸倒償却引当費用①+②)	85	35	50	143.8	78
うち貸倒引当金戻入益	-	258	△ 258	-	222
うち株式等関係損益	149	40	108	271.4	214
経常利益	817	1,660	△ 842	△ 50.7	2,878
特別損益	25	7	18	247.7	△ 9
中間純利益	821	1,516	△ 695	△ 45.8	2,634
与信関係費用	84	△ 225	310	-	△ 151

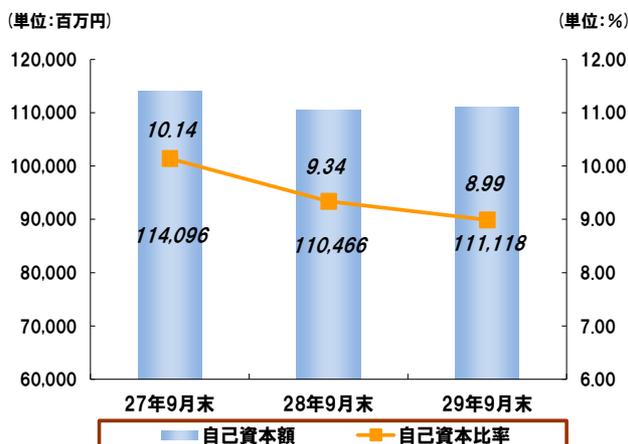
(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金及び役務収益等が減少した他、貸倒引当金戻入益の減少などから、前年同期比5億97百万円減少の76億41百万円(増減率△7.2%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比5億70百万円減少の7億18百万円(増減率△44.2%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益の減少及び貸倒償却引当費用の増加から、前年同期比3億10百万円増加の84百万円となりました。
- 経常利益は、コア業務純益及び国債等債券損益の減少等により前年同期比8億42百万円減少の8億17百万円。中間純利益は法人税等合計が1億28百万円減少したことから、前年同期比6億95百万円減少の8億21百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結



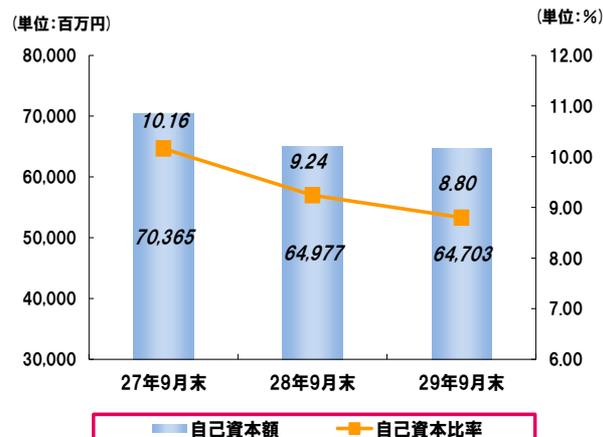
● じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.99%となりました。

(単位:%)

	27年9月末	28年9月末	29年9月末	28年9月末比	増減率
連結自己資本比率	10.14	9.34	8.99	△ 0.35	△ 3.7

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移

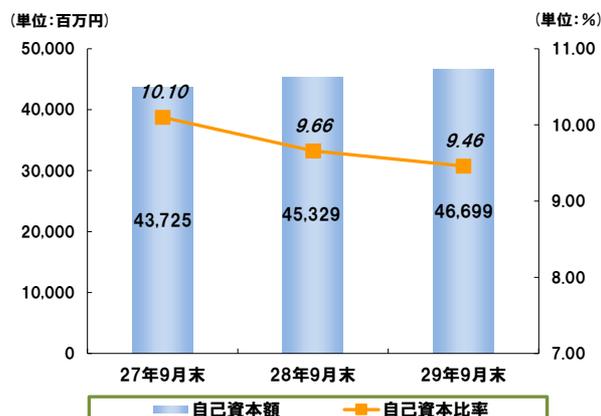


● 単体の自己資本比率は、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、28年9月末比0.44ポイント低下の8.80%となりました。

(単位:%)

	27年9月末	28年9月末	29年9月末	28年9月末比	増減率
自己資本比率[単体]	10.16	9.24	8.80	△ 0.44	△ 4.8
自己資本比率[連結]	10.19	9.16	8.70	△ 0.46	△ 5.0

③ 仙台銀行



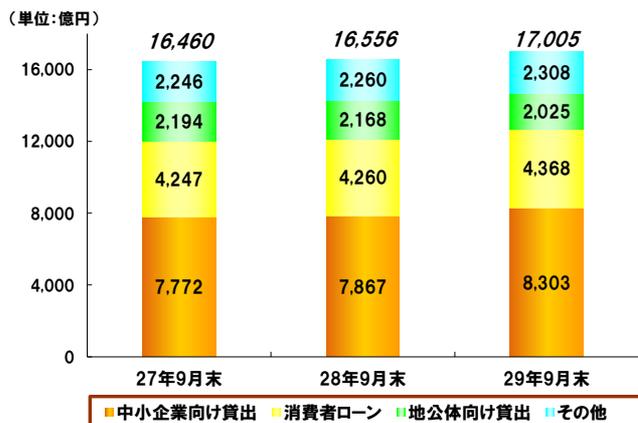
● 自己資本比率は、中間純利益を8億21百万円計上し、自己資本額(分子)が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、28年9月末比0.20ポイント低下の9.46%となりました。

(単位:%)

	27年9月末	28年9月末	29年9月末	28年9月末比	増減率
自己資本比率	10.10	9.66	9.46	△ 0.20	△ 2.0

3. 貸出金の状況

① 2行合算

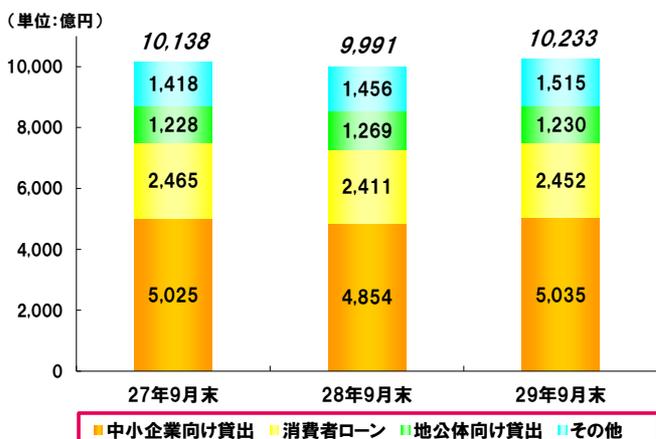


- 2行合算の貸出金残高は、28年9月末比449億55百万円増加の1兆7,005億65百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,700,565	1,655,610	44,955	2.7
うち中小企業向け貸出残高	830,377	786,741	43,636	5.5
うち消費者ローン	436,826	426,010	10,815	2.5
うち住宅ローン	392,307	383,304	9,003	2.3
うち地方公共団体向け貸出	202,513	216,812	△ 14,299	△ 6.6

② きらやか銀行

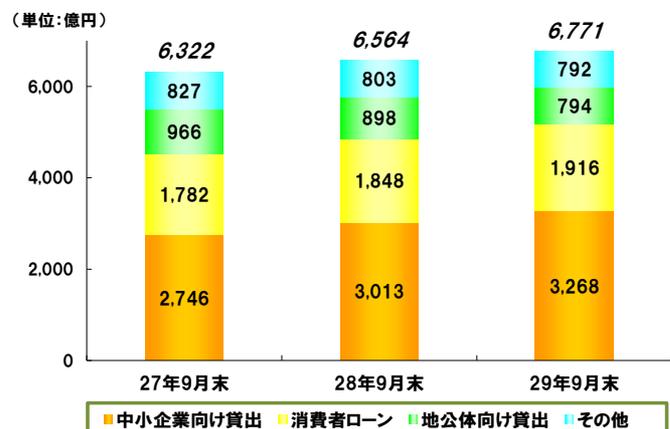


- 貸出金残高は、28年9月末比242億1百万円増加の1兆233億70百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、本業支援を着実に実施した結果、28年9月末比181億18百万円増加の5,035億31百万円となりました。
- 住宅ローンは、団信付保商品が好評なことから、28年9月末比46億30百万円増加の2,264億26百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,023,370	999,169	24,201	2.4
うち中小企業向け貸出残高	503,531	485,413	18,118	3.7
うち消費者ローン	245,205	241,158	4,047	1.6
うち住宅ローン	226,426	221,795	4,630	2.0
うち地方公共団体向け貸出	123,052	126,923	△ 3,871	△ 3.0

③ 仙台銀行



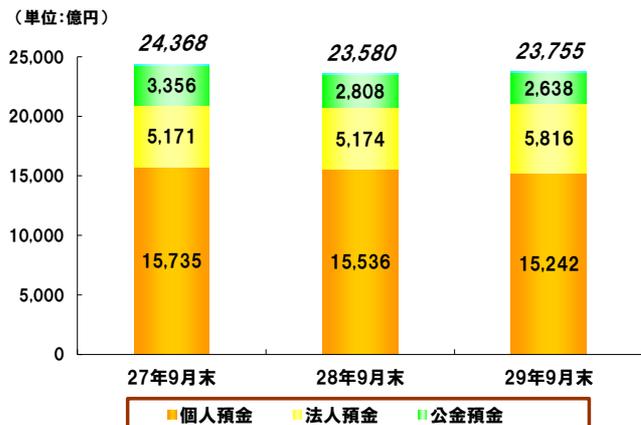
- 貸出金残高は、28年9月末比207億53百万円増加の6,771億94百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、お客さまの様々な資金需要へ積極的に対応したことから、28年9月末比255億18百万円増加の3,268億46百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローンや個人ローンの増加により、28年9月末比67億68百万円増加の1,916億21百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、28年9月末比104億28百万円減少の794億61百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
貸出金(末残)	677,194	656,441	20,753	3.1
うち中小企業向け貸出残高	326,846	301,328	25,518	8.4
うち消費者ローン	191,621	184,852	6,768	3.6
うち住宅ローン	165,881	161,508	4,373	2.7
うち地方公共団体向け貸出	79,461	89,889	△ 10,428	△ 11.6

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

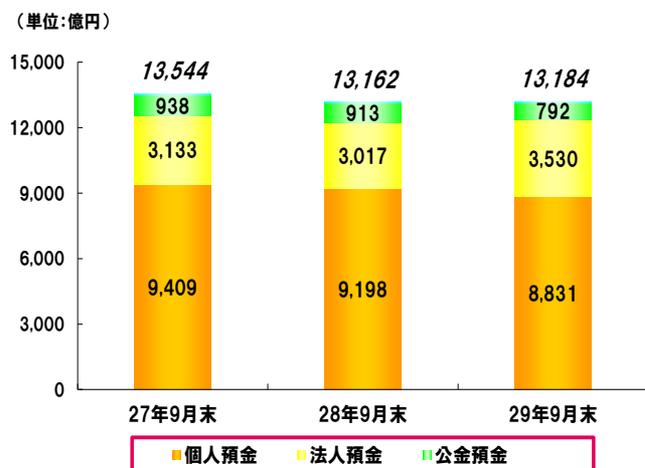


- 2行合算の預金残高は、28年9月末比175億38百万円増加の2兆3,755億85百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,375,585	2,358,046	17,538	0.7
うち個人預金	1,524,292	1,553,675	△ 29,382	△ 1.8
うち法人預金	581,614	517,488	64,126	12.3
うち公金預金	263,880	280,814	△ 16,933	△ 6.0

② きらやか銀行

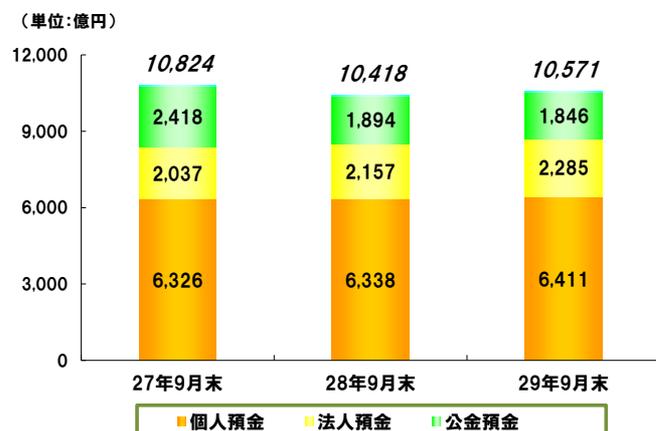


- 預金残高は、28年9月末比22億33百万円増加の1兆3,184億78百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制したことから定期預金が減少したことなどにより、28年9月末比367億20百万円減少の8,831億22百万円となりました。
- 法人預金は、流動性預金が増加したことなどにより、28年9月末比513億35百万円増加の3,530億49百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,318,478	1,316,244	2,233	0.1
うち個人預金	883,122	919,842	△ 36,720	△ 3.9
うち法人預金	353,049	301,714	51,335	17.0
うち公金預金	79,270	91,358	△ 12,088	△ 13.2

③ 仙台銀行



- 預金残高は、法人預金と個人預金の増加により、28年9月末比153億4百万円増加の1兆571億6百万円となりました。
- 個人預金は、28年9月末比73億38百万円増加の6,411億70百万円となりました。
- 法人預金は、28年9月末比127億90百万円増加の2,285億64百万円となりました。
- 公金預金は、28年9月末比48億45百万円減少の1,846億10百万円となりました。

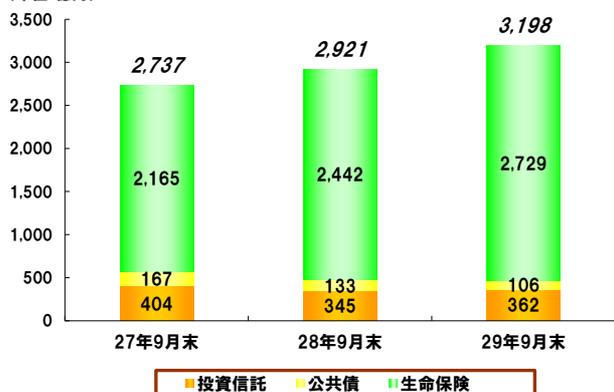
(単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,057,106	1,041,801	15,304	1.4
うち個人預金	641,170	633,832	7,338	1.1
うち法人預金	228,564	215,773	12,790	5.9
うち公金預金	184,610	189,456	△ 4,845	△ 2.5

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



- 2行合算の預かり資産残高は、28年9月比277億51百万円増加の3,198億75百万円となりました。

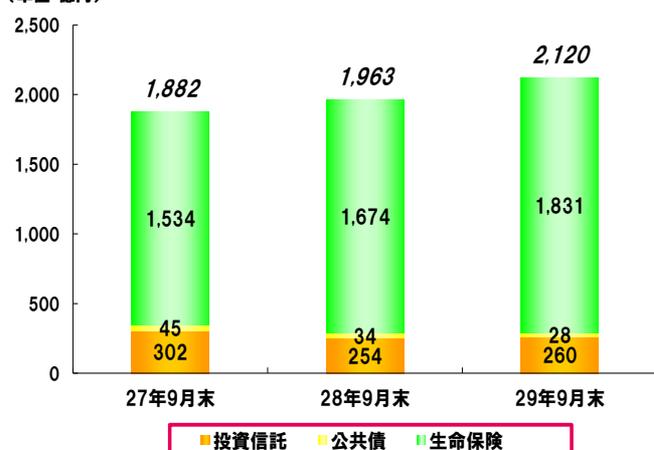
(単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	319,875	292,123	27,751	9.5
うち投資信託	36,282	34,515	1,766	5.1
うち公共債(国債等)	10,603	13,364	△ 2,761	△ 20.6
うち生命保険	272,989	244,243	28,745	11.7

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

② きらやか銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、28年9月末比156億74百万円増加の2,120億47百万円となりました。
- 投資信託は、28年9月末比6億33百万円増加の260億98百万円となりました。
- 公共債は、28年9月末比6億87百万円減少の28億12百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、28年9月末比157億28百万円増加の1,831億36百万円となりました。

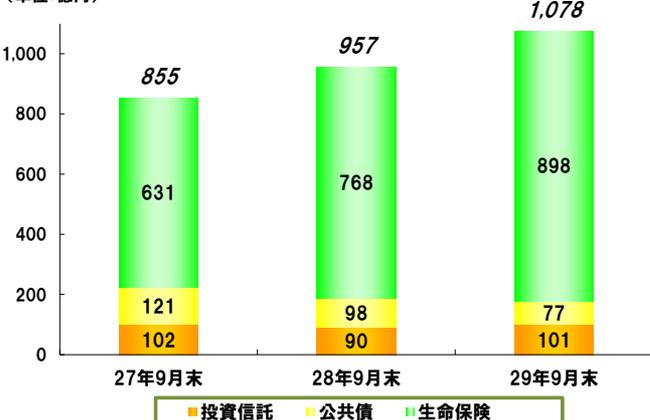
(単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	212,047	196,372	15,674	7.9
うち投資信託	26,098	25,465	633	2.4
うち公共債(国債等)	2,812	3,499	△ 687	△ 19.6
うち生命保険	183,136	167,407	15,728	9.3

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

③ 仙台銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、28年9月末比120億76百万円増加の1,078億27百万円となりました。
- 投資信託は、28年9月末比11億33百万円増加の101億83百万円となりました。
- 公共債は、28年9月末比20億73百万円減少の77億91百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、28年9月末比130億17百万円増加の898億53百万円となりました。

(単位:百万円、%)

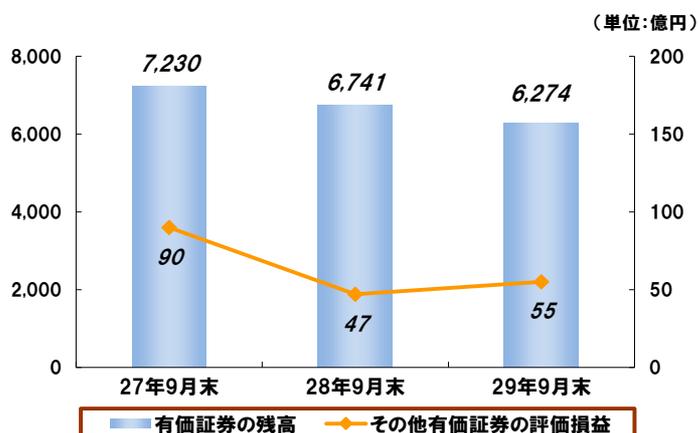
	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	107,827	95,751	12,076	12.6
うち投資信託	10,183	9,049	1,133	12.5
うち公共債(国債等)	7,791	9,865	△ 2,073	△ 21.0
うち生命保険	89,853	76,836	13,017	16.9

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、28年9月末比466億36百万円減少の6,274億80百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、28年9月末比7億55百万円増加し、55億円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

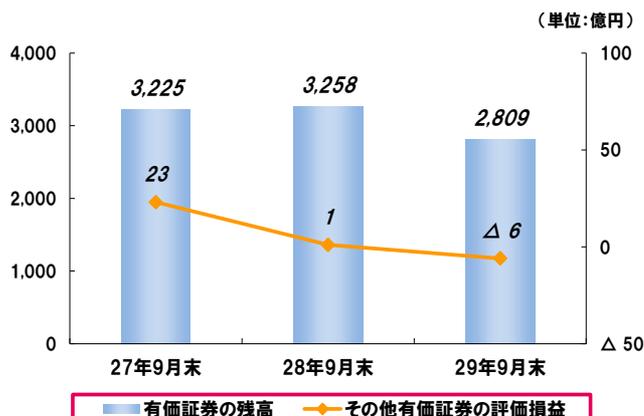
	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
有価証券	627,480	674,116	△ 46,636	△ 6.9
国債	161,066	201,570	△ 40,503	△ 20.0
地方債	84,069	74,603	9,465	12.6
社債	200,828	217,495	△ 16,666	△ 7.6
株式	20,143	15,686	4,456	28.4
その他証券	161,372	164,759	△ 3,387	△ 2.0

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比
その他有価証券	5,500	4,745	755
株式	4,358	1,942	2,415
債券	4,029	8,725	△ 4,695
その他	△ 2,887	△ 5,922	3,035

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、28年9月末比449億39百万円減少の2,809億28百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、債券の評価益が減少したことにより28年9月末比8億17百万円減少し、6億72百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

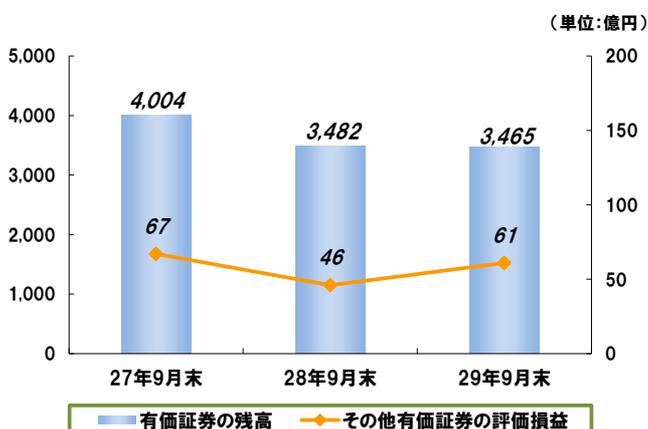
	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
有価証券	280,928	325,868	△ 44,939	△ 13.7
国債	93,224	130,686	△ 37,462	△ 28.6
地方債	7,641	8,254	△ 613	△ 7.4
社債	54,825	69,212	△ 14,387	△ 20.7
株式	10,961	8,462	2,499	29.5
その他証券	114,276	109,252	5,024	4.5

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比
その他有価証券	△ 672	145	△ 817
株式	1,032	556	475
債券	819	3,474	△ 2,654
その他	△ 2,524	△ 3,885	1,360

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、保有していた有価証券の償還等により、28年9月末比16億96百万円減少の3,465億51百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、28年9月末比15億72百万円増加し、61億72百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比	増減率
有価証券	346,551	348,248	△ 1,696	△ 0.4
国債	67,842	70,883	△ 3,041	△ 4.2
地方債	76,428	66,349	10,078	15.1
社債	146,003	148,283	△ 2,279	△ 1.5
株式	9,181	7,224	1,956	27.0
その他証券	47,095	55,507	△ 8,411	△ 15.1

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

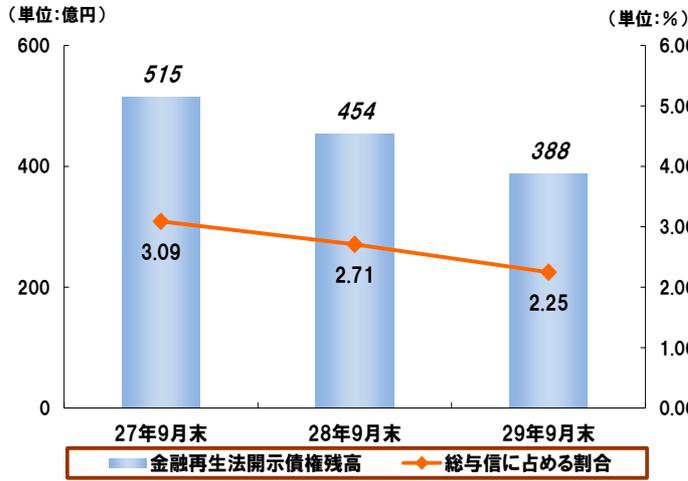
	29年9月末	28年9月末	28年9月末比
その他有価証券	6,172	4,600	1,572
株式	3,325	1,385	1,939
債券	3,209	5,251	△ 2,041
その他	△ 362	△ 2,036	1,674

(注)その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、28年9月末比65億81百万円減少の388億43百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、28年9月末比0.46ポイント低下の2.25%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

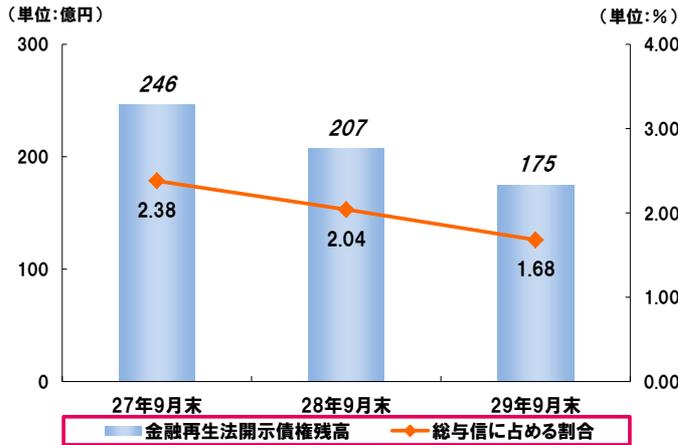
	29年9月末	28年9月末	28年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,655	5,820	△ 1,164
危険債権	30,830	35,323	△ 4,493
要管理債権	3,357	4,280	△ 923
合計 (A)	38,843	45,424	△ 6,581
正常債権	1,681,891	1,630,246	51,644
総与信額 (B)	1,720,735	1,675,671	45,063
(A / B)	2.25	2.71	△ 0.46

②金融再生法開示債権の保全状況(29年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,655	4,655	2,477	2,177	100.00
危険債権	30,830	27,671	22,612	5,058	89.75
要管理債権	3,357	766	299	466	22.81
合計	38,843	33,093	25,390	7,702	85.19

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、28年9月末比32億8百万円減少の175億73百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、28年9月末比0.36ポイント低下の1.68%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

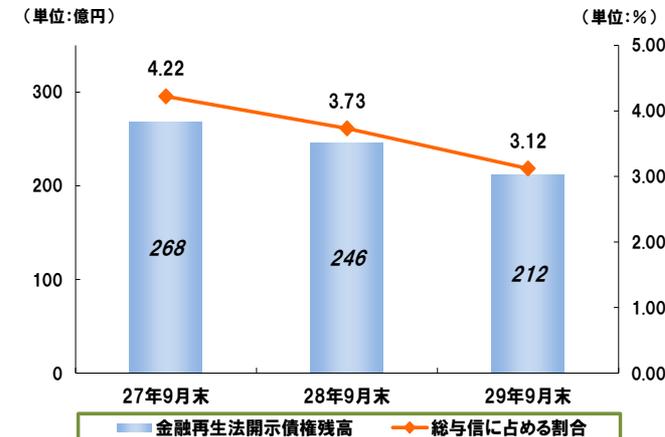
	29年9月末	28年9月末	28年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,981	4,342	△ 1,361
危険債権	11,791	13,626	△ 1,835
要管理債権	2,801	2,813	△ 11
合計 (A)	17,573	20,782	△ 3,208
正常債権	1,022,613	994,957	27,655
総与信額 (B)	1,040,186	1,015,739	24,447
(A / B)	1.68	2.04	△ 0.36

②金融再生法開示債権の保全状況(29年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,981	2,981	1,242	1,738	100.00
危険債権	11,791	9,318	7,696	1,622	79.02
要管理債権	2,801	577	115	461	20.60
合計	17,573	12,876	9,054	3,821	73.27

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、28年9月末比33億72百万円減少の212億69百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、28年9月末比0.61ポイント低下の3.12%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	29年9月末	28年9月末	28年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,674	1,477	196
危険債権	19,039	21,697	△ 2,658
要管理債権	556	1,467	△ 911
合計 (A)	21,269	24,642	△ 3,372
正常債権	659,278	635,289	23,989
総与信額 (B)	680,548	659,932	20,616
(A / B)	3.12	3.73	△ 0.61

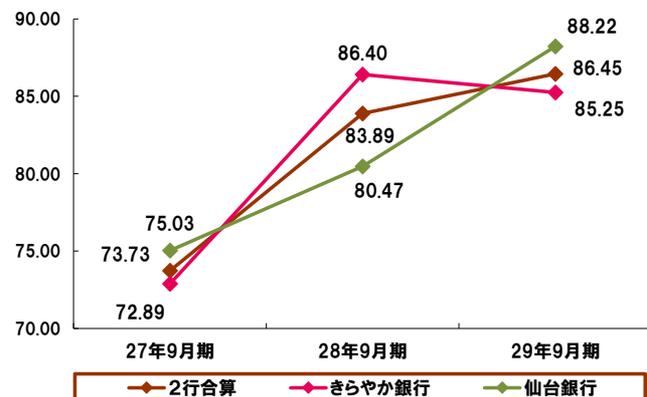
②金融再生法開示債権の保全状況(29年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,674	1,674	1,234	439	100.00
危険債権	19,039	18,353	14,916	3,436	96.39
要管理債権	556	189	184	5	33.97
合計	21,269	20,216	16,335	3,880	95.04

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、28年9月末比2.56ポイント上昇し、86.45%となりました。

(単位:%)



(単位:%)

		27年9月期	28年9月期	29年9月期	27年9月期比	28年9月期比
コアOHR	2行合算	73.73	83.89	86.45	12.72	2.56
	きらやか銀行	72.89	86.40	85.25	12.36	△ 1.15
	仙台銀行	75.03	80.47	88.22	13.19	7.75

9. 平成30年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成30年3月期の連結業績予想は、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益32億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成30年3月期の中間配当金は、1株あたり2円50銭をお支払いいたします。また、期末配当金は、1株あたり2円50銭を予定しております。

(単位:百万円)

	30年3月期	(参考) 29年3月期	基準日	中間	期末	年間
経常利益	3,700	4,737	配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,200	4,628	(参考) 29年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益22億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益15億円、当期純利益12億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	30年3月期	(参考) 29年3月期
経常利益	2,200	2,159
当期純利益	2,000	2,200

仙台銀行

(単位:百万円)

	30年3月期	(参考) 29年3月期
経常利益	1,500	2,878
当期純利益	1,200	2,634